

一生勉強、一生青春

—高校時代に身に付けておくべきこととは—

群馬経済同友会会員
林 明夫
(www.kairin.co.jp)

後でお読みになりやすいように、Q and Aの形で本日の講演資料を作りました。御活用下さい。

Q1：本日の講演の目的は何ですか。

A：(1)社会で求められる人材とは何か。

(2)そのために高校時代にしておくべきことは何か。

(3)仕事に就くための適性、資質、大学(学校)選びとは何か。

以上について、私の経験から考えることをお話いたします。皆様のこれからのキャリア形成に少しでもお役に立てればとの思いから「一期一会(いちごいちえ)」「一日一生」の精神でお話いたしますので、どうか熱心にお聞き下さい。

Q2：好きなことばはありますか。

A：あります。たくさんあります。すべて学校時代や社会に出てから学びました。

(1)「ブルドッグ魂」(食いついたら離すな) 中学のクラス担任 岡田忠治先生

(2)「練習で泣いて、試合で笑え」 中学の柔道部長 椎名弘先生

(3)「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心に行くこと) 足利高校のマラソン大会

(4)「注意一秒、ケガ一瞬」 大学の犯罪学の宮沢浩一先生

(5)「いつも最悪のことを考えて行動を」 大学の法哲学の峯村光郎先生

(6)「会った人は皆友達」 京都一燈園 石川洋先生

(7)「よいことをして忘れること」 //

(8)「本当の月を見たことがあるか、本当の自分を見たことがあるか」 //

(9)「離見の見(りけんのけん)」…舞台上で舞う自分の姿をもう一人の自分が観客席から見る
世阿弥(ぜあみ)

(10)「初心忘るべからず」 //

(11)「持続する志」 大江健三郎先生

(12)「目には遠いが、心は近い」 インドのことわざ

(13)「教育ある人とは一生勉強し続ける人」 ドラッカー先生

(14)「いつまでも若々しく生きる」 中村天風先生

(15)「一生勉強、一生青春」 相田みつを先生

(16)「自然と精神」 ベイトソン先生

(17)「健康第一、身体・心の健康を大切に」

*心に触れることばに出会ったら、ノートにメモをして一生大切にして下さい。

Q3：どのような仕事や社会的な活動をしていますか。

A：(1)株式会社 開倫塾 代表取締役社長……サービス産業

(2)マニー株式会社(手術用縫合針製造)顧問、前社外取締役

(宇都宮市、ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン)……製造業

(3)社会福祉法人 両崖福祉会 特別養護老人ホーム清明苑 理事(足利市)……介護・福祉

(4)学校法人 有朋学園 有朋高等学院 理事長(福島市)

- (5) 国立大学法人 宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授
- (6) 群馬経済同友会、栃木県経済同友会、福島経済同友会、東京の経済同友会で活動
- (7) 足利市経済活性化諮問会議 会長
- (8) 開倫ユネスコ協会 会長
- (9) CRT ラジオ栃木放送「開倫塾の時間」毎週土曜日午前9時15分～25分担当 26年目

Q 4 : これからの社会で求められる能力とは何ですか。

A : (1) 知識基盤社会 ……知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力

(2) グローバル化社会 ……多様な集団で交流する能力

(3) 課題山積社会 ……自律的に活動する能力

(4) 以上(1)～(3)の前提となる能力とは何か。

① 「読書により思慮深さ」を身に付けていること

* 「新聞により自分で考える力、批判的思考能力」を身に付けていること

② 「学習の方法」を身に付けていること

* 「学ぶ」とは study、うんなるほどと「理解」すること

「習う」とは learn、「理解」したことを「定着」させること

「学ぶ」と「習う」を明確に区別して「学習できること」

Q 5 : 高校での教科や教科外の学習は、大学や社会で役に立ちますか。

A : (1) すべて役に立ちます。役に立たないことは1つありません。

(2) 大学や短期大学、専門学校での学習や研究はすべて、高校での勉強が「理解」され、「定着」されていることを前提に行われるからです。高校での教科や教科外の学習が身に付いていないと、進学後に大きな困難に陥りますので、高校の内容のやり直しが求められます。

(3) 社会に出てからも同様です。企業や勤め先での仕事は、高校でキチンと勉強したことが前提となって進められます。

(4) ですから、高校のときにキチンと勉強したかどうかを調べる入学試験や採用試験があるのです。

Q 6 : 高校時代にしておくべきことは何ですか。

A : (1) 全教科の学習を通して、学習の仕方を身に付けておくことが一番大事です。

(2) 「予習」の仕方を身に付けておくことをお勧めします。

① 大学等に進学したり、社会に出て働いたりするときには、自分の力で新しい内容をどんどん学習することが求められるからです。その能力を高校時代に「予習」という形で訓練しておくことです。

② 「予習」でまず大切なのは、テキスト、つまり勉強するものを決めることです。

③ 次に大切なのは、科目別の意味調べノートを一冊用意して、「予習」をしていて意味がよくわからないことばに出たら必ず辞書で調べ、調べた「ことば」とその「意味」を各科目の意味調べノートにメモ・記録しておくことです。そして、その意味調べノートはその科目を学習するときに必ず1ページ目から見直すことです。

- ④「学力」は、よく身に付けている「ことばの数」、「語彙数(ごいすう)」で決まります。
 - ⑤テキストを辞書などを用いながら一語一語丁寧に読み、何が書かれているか「理解」に励む。例題や問題があったら自分の力でノートに解いてみる。これが「予習」です。
 - ⑥「何がわからないか、わからないところをはっきりさせて授業に臨む」のが、「予習」の目的と言えます。
 - ⑦この「予習」の目的や方法は、大学に行っても、就職しても役に立ちます。
- (3) 授業中は、先生の目を見て真剣に話を聞き、必要なことはノートを取り、授業に積極的に参加して下さい。これも、大学や社会で役に立ちます。
- ①授業の遅刻・欠席・早退、授業中の居眠り・ケータイ・私語は、大学や職場でも認められません。職場に遅刻や欠席することなく時間前に到着できるのは大切な「能力」です。
 - ②人の話を聞くときは、話し手の目を見、必要なことはメモを取ることが、大学でも仕事でも不可欠です。
 - ③特に、メモを取り続けることは仕事の上で欠かせません。仕事はメモで成り立つとも言えます。
 - ④ノートやメモは後でスミからスミまで見直し、すべて頭に入れてはじめて他人から信用され、仕事が成り立ちます。メモが正確に取れて、その内容をスミからスミまで頭の中に入れ、仕事に用いることができるのは大切な「能力」です。
- (4) 授業終了後は、その日の授業のテキストや参考書、ノートを見て復習すること。
- ①これも、大学や社会ではとても大事です。
 - ②特に、ノートやメモを見て、その日の授業や仕事をもう一度振り返り、大切なことをまとめてわからないことを調べ直し、次に備えることは大切です。
 - ③今までに学んだことを、これはこうなのかと正確に「理解」した上で、正確に身に付ける・「定着」させると、次回からの新しいことも完全に「理解」し、身に付けられる可能性が増します。
 - ④「復習」と同時に、次回の「予習」もしてしましましょう。仕事をするときには明日の仕事の「段取り」(Aの次はB、Bの次はCをやるという「仕事の手順」)を考えることが大事です。「段取り八分(だんどりはちぶ)」とも言います。
- (5) 確認テスト、単元テスト、定期テスト、実力テスト、模擬試験、検定試験、入学試験などを通して、テストの準備の仕方、よい点数の取り方、合格点の取り方を身に付けておくこと。
- ①大学にもテストはあります。仕事に就くときには就職試験があります。難しい仕事ほど就職後に様々な資格試験、国家試験があります。
 - ②高校時代にテストの受け方を身に付けておくことをお勧めします。
 - ③学校の教科書と授業中のノート、参考書と辞書を用いて十分に「理解」し、「理解」した内容はスミからスミまで「定着」させることです。
 - ④「理解」した内容をスミからスミまで覚える・「定着」させるためには、「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」の3つの練習が最も有効です。

私は、これを「定着のための三大練習」と名づけました。
「練習は不可能を可能にする」(慶應義塾大学塾長 小泉信三先生)

⑤大切な試験では、「過去問」(過去に出題された問題)を5年分、「間違いノート」を作
って5回解くことが求められます。これも「練習」です。

*検定試験や国家試験を受験するときには、「過去問5年分×5回」が有効です。

(6)このように、高校の勉強は大学や社会のすべての勉強の基礎であるため、すべてが高校
卒業後に役に立ちます。

①このように、高校の教科書、資料集、参考書、ノートは死ぬまで役に立ちます。です
から、決して処分しないでキチンと保存して、折に触れて読み直すことです。

②入学試験や就職試験、様々な試験のときに見直すと必ず役に立つのが、高校の内容です。

③高校の教科内容やすべての教育内容は、人生を豊かにします。社会に出てからも、時々
見直し、人生の基礎とすることです。

Q 7 : 社会人として大切なことは何ですか。

A : (1)「躰(しつけ)」を身に付けていることです。

(2)「躰」には2つあります。

- ①美しい立居振舞い(たちいふるまい)
- ②敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)

(3)「元気なあいさつ」「服装」「約束した時間の5分前に到着すること」も大切です。

(4)「5S」はどこの職場でも求められます。

- ①整理 (Seiri)
- ②清掃 (Seisou)
- ③整頓 (seiton)
- ④清潔 (seiketu)
- ⑤躰 (Shituke)

Q 8 : 人は何のために働くのですか。

A : (1)製品・サービスの顧客にとっての意味とは、顧客の問題解決になること。お客様のお役
に立つこと。世の中のお役に立つこと。

- ①顧客が買える価格で提供すること
- ②顧客にとって便利な場所で提供すること
- ③顧客とコミュニケーションをとりながら提供すること

(2)何のためにこの仕事をするのか、仕事の意味、社会的使命 (Mission ミッション)を知り、
志(こころざし)高く生きること。

Q 9 : 何のために進学するのですか。

A : (1)知らないことを知るため。

(2)大学でより高度な勉強をすることで知識を深め、人生の選択肢を増やすため。

(3)自分の就きたい職業に就くため。自分のしたい活動をするため。

Q10：進学先・就職先どころか、将来どうしたらよいかわからないのですが・・・。

A：(1)あせることはありません。とりあえず、世の中はどうなっているかを知るために、新聞を毎日1時間以上読むことです。

(2)次に、各教科の教科書で紹介されている本をゆっくりと何回か読むことです。高校生は「伝記」を読むとよいでしょう。

(3)各教科の予習をし、授業を真剣に聞き、家では復習に励むこと。

(4)古典(日本の古文、漢文、外国の古典)をじっくりと読むこと。

(5)部活動に励むこと。

(6)博物館、美術館、図書館などに出掛けること。

(7)大学を訪問すること。職場見学に出掛けること。いろいろな人の話を聞くこと。

(8)放送大学で大学の教科を学習すること。NHKの語学講座で英語やいろいろな言語を学習すること。NHKオンラインEテレもテキストを買って見ること。

Q11：進学希望の学校が決まったら、どうしたらよいですか。

A：(1)学校見学に行くことをお勧めします。

(2)大きな教室で授業を見学する。図書館を見る。食堂(カフェテリア)で食事をする。売店や書店で文具や本を購入する。

(3)大学でコミュニティ・カレッジなど大学開放講座をしていたら参加する。公開の講演会があったら参加する。

(4)大学での生活をイメージし、「絶対合格してやる」と念じながら学習に励んで下さい。今から準備をすれば、必ず合格します。

(5)皆様のご成功をお祈り申し上げます。

*御清聴を感謝申し上げます。

以上